

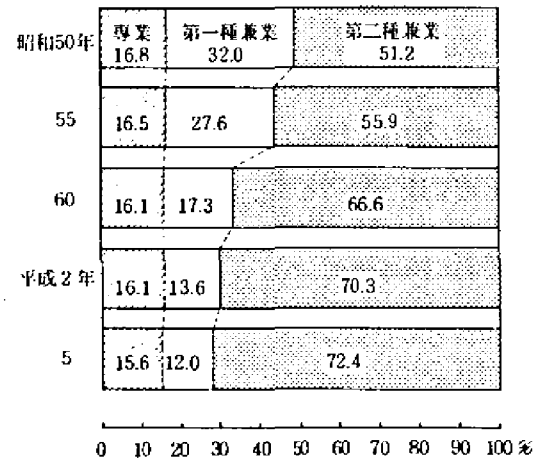
15. 農 家 数

農業基本調査によると、平成5年2月1日現在の農家数は110,537戸で、前年と比較すると、2,272戸（△2.0%）の減少となった。

農家を専兼業別にみると、専業は17,229戸（構成比15.6%）、第一種兼業（一兼）は13,288戸（同12.0%）、第二種兼業（二兼）は80,020戸（同72.4%）であった。

経営耕地面積規模では、各階層の増減率をみると、前年に比べ3.0 ha 未満規模の農家は、各層で減少しているのに対し3.0 ha 以上の農家は増加している。

専業・兼業別農家数の割合



各年2月1日現在

年	農家数	専業兼業別				
		1) 専業	2) 兼業		3) 第1種	4) 第2種
			計			
平成元年	120 689	19 373	101 316	16 586	84 730	
2	117 294	18 914	98 380	15 992	82 388	
3	114 715	18 287	96 428	15 467	80 961	
4	112 809	17 538	95 271	13 934	81 337	
5	110 537	17 229	93 308	13 288	80 020	

年	経営耕地面積規模別					
	0.1~0.5 ha	0.5~1.0	1.0~2.0	2.0~3.0	3.0 ha 以上	例外規定
平成元年	33 659	34 942	37 488	10 953	3 021	626
2	36 017	33 064	34 171	10 228	3 118	696
3	31 377	33 276	35 316	10 801	3 344	601
4	30 979	32 741	34 418	10 640	3 445	586
5	30 145	31 886	33 834	10 496	3 601	575

注) 1. 平成2年は世界農林業センサス、その他各年は県農業基本調査による。
 2. 農家とは、次に掲げる規模の農業を営む世帯をいう。①経営耕地面積が10アール以上であるもの。②経営耕地面積が10アール未満でかつ過去1年間の農産物販売額が15万円以上（平成元年は10万円以上）であるもの。
 3. 1) 世帯員中に兼業従事者がいない農家。 3) 自営農業を主とする兼業農家。
 2) 世帯員中に兼業従事者が1人以上いる農家。 4) 自営農業を従とする兼業農家。
 資料 統計課「農業基本調査の結果概要」,「世界農林業センサス結果概要」